

# 兵庫県商工新聞

編集 兵商連新聞編集委員会  
発行 兵庫県商工団体連合会  
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地4-4-12  
☎ (078) 341-0563(代)  
FAX (078) 341-0885  
http://www.hyoshoren.co.jp/  
Email: info@hyoshoren.co.jp

2019年2月  
第318号

# 「増税せず」が一番の景気対策

## 消費税は瀕死の税金 増税中止は可能!

兵商連は1月11日、新春決起集会を開き130人が集いました。集会では、税理士で元静岡大学の湖東京至教授が、「消費税10%への増税と複数税率・インボイス」「適格請求書」方式」と題した講演を行い、今年10月からの税率10%でのような問題が起こるのか、わかりやすく話されました。

湖東税理士は、「安倍首相が食料品などを軽減税率にするから低所得者の負担はそんなに増えないと言うが、それはまやかし。飲食料品が値上げされない保証はない」と。また、「すでに、ヨーロッパやパンなど先取りし値上げされ、分量を減らされている」と。

そして、「何が軽減税率の対象になるか大きな混乱をもたらす」「インボイス(適格請求書)の強制で免税事業者はなくなってしまう。複雑な実務で混乱は避けられない」と指摘しました。

また、「EU委員会で軽減税率を見直す方向も検討されている。輸出還付金はアメリカのトラップ大統領が輸出企業のリベートと批判して



兵商連新春決起集会  
兵商連新春決起集会  
兵商連新春決起集会

引き上げ中止を  
山根良一さん  
〔赤穂民商〕

消費税の性質とか目的がわかりました。結局、大企業にやさしく我々中小企業に冷たい税金と言うことで12年前に事業がうまく



新春決起集会  
新春決起集会

署名集め反対の声を  
菊妻博和さん  
〔揖斐太(粟)民商〕

消費税の仕組みが悪い。赤字でも発生する消費税は、滞納者も多い。大手企業は昨年から値上げをしているが、私たち小規模の免税業者は登録番号をもらうために売上が1000万以下でも赤字でも消費税を支払わなければならない。発行できず、企業からの仕事がなくならい商売ができなくなる。

消費税転嫁も限界  
池本勝次さん  
〔伊丹民商〕

今年10月から10%に引き上げられる消費税は、初めての複数税率制とインボイス方式が決定。軽減税率により

政治をかえるしかない  
栗岡千里さん  
〔兵庫民商〕

湖東先生の講演を聞き、「あーこうなるんだ」と参考になった部分もありましたが、まだまだ私たちの商売とくらしに直接かわって来るとの感覚がわかりません。大企業が非常に優遇され、税金を払っていない実態を腹立たしく思い、「政治を変えることが一番」と怒りがわきました。

批判しないマスコミ  
豊村和正さん  
〔須磨民商〕

湖東先生の話の冒頭で先取り値上げがすでに始まっており、それを政府が奨励していると語ることは本当に許せない。これでインボイスが導入されれば、消費税の滞納が増え、倒産・失業も増えるのは当然です。

もうかき  
もうかき  
もうかき

倉敷民商弾圧事件から5年。2014年1月小原さんと須増さんが逮捕された。ちょうど確定申告期の忙しい時期での逮捕劇。そしてその年の4月から消費税率が8%に増税になった。商売とくらしを守り、消費税増税反対の旗印を高く掲げる民商への見せしめか▼今年も消費税率が10%から10%に増税されようというなか、確定申告期を迎える。10%への増税が実施されたなら、消費税の税収が所得税を抜き最も多くなる。法人税収は大企業優遇税制で下がるばかりだ▼税務署は、税務調査の最重点として売上1000万円のボーダーライン層を対象にし、中小業者を狙い撃ちしている。併せて、複数税率やインボイス制度の導入なども予定され、ますます中小業者は商売がしにくくなる▼今年の確定申告では、消費税は弱い者いじめの不公平税制であることを仲間と一緒に考え、自信を持って自主申告を貫くことが求められる。このことが民商への弾圧を許さず、消費税増税をストップさせる力だ。

## 増税中止へ全力



明石民商は毎月「消費税増税中止」の宣伝・署名行動を行っています。12月は日の落ちる前の午後4時から明石駅前1時間、のぼり3本、横断幕を用意し、「増税反対ティッシュペーパー」120個を配って訴えました。

用事を終えた伊東秀さん(理容)や小寺フヂエ会長と事務局3人の5人でしたが、高校生らがアイコンタクト、みんなで署名したり、年輩の男性が「アベ首相に届くなら、署名するでエ」と大きな声で怒りを署名用紙にぶつけていました。これまで以上に声をあげて35人分の署名が集まりました。



新年早々、1月11日元気に街頭宣伝をおこないました。

# あふれる商売のヒット

## 第17回兵青協経営力アップ交流会



1月20日、兵商連青年部協議会は、第17回目となる経営力アップ交流会を開催し、22人が参加しました。コーディネーターは兵庫県中小商工業研究所長の近藤義晴さん。パネリストは、行政書士の岸本隆志さん（尼崎民商）と美容業の坂田哲朗さん（西宮民商）です。

岸本さんは、元々エンジニアとして働いていましたが、もっと社会や人の役に立ちたいという思いから行政書士事務所を独立開業しました。仕事をすることで、一番大切にしていることは、仕事をして報酬をもらうだけでなく、普段から人との繋がりを大事にし、より多くの人に、名前を知ってもらうこと。日々自分から足を運ぶようにし、少しでも顔を覚えてもらうようにしています。仕事の内容は、主に建設業の許可申請や名義変更、相続の資産管理などで、今は知り合いの行政書士から仕事を振ってもらっています。より多くの仕事を



自分で取れるようにしたいと報告されました。坂田さんは、カラー専門店「Fast Color」をオープンし、今年で6年目。フランチャイズにすることで年々、店舗を増やしており現在8店舗。多店舗経営は仕入先の業者と仲良くなれて、普段教えてもらえない情報がたくさん聞けたり、仕入れる材料も低価格で買えたりすることが最大のメリットです。デメリットは店舗ごとに客数にばらつきがあること。その原因を見つけて改善し、さらに店舗を増やせると報告しました。

「行政書士は司法書士や弁護士などどう違うのか」との質問に岸本さんは、「弁護士は、すべての仕事に携わることができるが、行政書士と司法書士は仕事が出来ない線引きが難しく範囲も限られる」と続の資産を調べる時や書類の作成、FXやビットコイン等細かい作業が得意なので時間を短縮したい人は是非行政書士に依頼してほしい」と答えました。

「カラー専門店、白髪染めの専門店に来る人が多くいるのか」という質問で坂田さんは、「美容室よりも手助け合って宣伝

## 平和と憲法を守ろう

### 阪神・淡路大震災24年メモリアル集会

午前5時46分、阪神・淡路大震災が発生した時刻には、県下さまざまなところで追悼集会が開かれました。その数は、高齢化もあり年々減少し、一次世代にどう震災を伝えていくかが大きな課題となっています。

た朝の追悼集会も今回で最後となりました。午前中には、震災復興長田の会が長田を歩き、長田の現状を考える交流集会を開催。また、午後から、兵商連も加入する阪神・淡路大震災救援復興兵庫県民会議（復興県民会議）が、「多発する自然災害にどう立

ち向かうか」と題し、メモリアル集会を行いました。集会は松平晃さんのトランペットで始まり、兵商連・磯谷吉夫会長が、「インフラ整備を優先させ、表面的には何もなかったかのようにきれいな街になったが、一方では復興公営住宅の孤独死、借上げ住宅追い出し問題など、問題が山積みになっている。私で言えれば、公的支援がないなか、膨大な借入で24年間苦勞の連続だっ



た」と、開会の挨拶を行いました。今年のメモリアル集会のテーマは「多発する自然災害にどう立ち向かうか」。後半のシンポジウムでは、岡山県真備町、広島県呉市、愛媛県宇和島市、茨城県常総市から被害の実態と問題が報告され、生活や生業、農業の再建を後押ししなければならぬ政治が後手にまわっている実態が明らかになりました。また防災・減災も、国や自治体が事前に力を集中すればできる、声を上げ、被災者生活再建支援法の増額、今ある制度の改善・拡充など、奮闘することを誓い合いました。

## 私の商売ものがたり

NO.192

田上鉄平さん  
(建築板金)  
はりま中央民商



小野市で創業60年、屋根工事・雨漏りなどを中心に建物外装補修を営んでいる「田上建築板金」です。祖父が開業し、2代目の父（信之さん）からサポートを受けながら3代目として親子で頑張っています。

私がこの仕事を継いだきっかけは小学校の頃に父の背中を見て家業を継ぎたいと思っていったからです。そのため地元の工業高校で

## 技術のバトン引き継ぐ

参加者からは、「どの仕事も繋がりが大事」などの声寄せられました。

「カラー専門店、白髪染めの専門店に来る人が多くいるのか」という質問で坂田さんは、「美容室よりも手助け合って宣伝

参加した役員からは、「自分のところの支部が終わったら、他も手伝いに行く。ちゃんと地図こしらえてよ」と事務局に。4組にわかれて元気に行動。天候にも恵まれあたたかい一日でした。

参加者からは、「どの仕事も繋がりが大事」などの声寄せられました。

## 2019年春の運動 元気に宣伝

### 助け合って宣伝

参加した役員からは、「自分のところの支部が終わったら、他も手伝いに行く。ちゃんと地図こしらえてよ」と事務局に。4組にわかれて元気に行動。天候にも恵まれあたたかい一日でした。

参加者からは、「どの仕事も繋がりが大事」などの声寄せられました。



1月13日、高砂民商では、立看板ポスターを市内一斉に貼り出しました。



1月13日に毎年恒例の立看板たてを4人の参加で行いました。広い三木市内で20本ほどの数ですが、午前

**田上建築板金**  
たのうえ  
〒675-1357  
兵庫県小野市三和町942  
Tel: 0794-66-6378  
Fax: 0794-66-7827

## 経営情報

消費税が8%に増税されてから、「一括で納付できない」などの声が上がりが新規滞納が急増しています。国税が一括で納められない場合は申請型「換価の猶予」を申請しましょう。納期限から6カ月以内の申請で最長2年の分納、延滞税が下がります。納税の相談は、最寄りの民商へ。

## 編集後記

嫌な嫌な申告シーズンが近づいてきました。伝票の整理は順調ですか？みんなが一番税金に関心がある時期です。死活問題の消費税増税・インボイスを集まって、しっかり学習して怒りを結集しましょう。(H)